

先輩に学ぶ

—進路決定者からの講話—

2月4日（火）に「進路決定者からの講話」が行われました。進学・就職の決定した3年生の体験談に、1、2年生は熱心に耳を傾けていました。就職者代表の鈴木くんは「第1志望も大切ですが、もしものことを考え第2志望も考えた方がいいと思います。自分は第1志望しか考えていなかったのが大変でした。それから、試験勉強や面接練習を頑張ってください。それから先生方の支えは本当に力になります。困ったら力を借り、あとは頑張るのみです。」と話しました。スクールアドバイザーの伊藤先生からは「自分の失敗から学んだことも、しっかりと話してくれた3年生の姿勢はすばらしい。今回発表してくれた人たちに共通して言えることは、みな目標を決めてそれに向かって努力を惜しまなかったことだ。いざ、という時に力を出せる人になろう。」と講評をいただきました。



※生徒の感想より

先輩達の話聞いて、今からしっかり進路について考えていかなければならないし、普通の日常生活もしっかりしなきゃいけないと改めて感じることができました。3年生になってからは皆より遅れてしまうし、今から頑張っているいろんなことに取り組んでいかなければ、自分のやりたいこともできなくなってしまうということがわかりました。今できないことは後になってもきっとできないので、今が頑張る時なのだなと思いました。これから夢に向かっていく私達には、とても貴重でためになる話でした。今以上に頑張っていきたいです。

（2年 佐々木 緩菜）

今日は8人の先輩が講話をして下さいました。自分は公務員を希望しているので、三浦先輩の話が一番印象に残りました。その話の中で何度も出てきた言葉が“計画性”です。自分はふだん計画性を持たず、結果的に途中で投げ出してしまうことがたくさんあります。今日のアドバイスを今後の生活に活かしていけば、もっと将来に結びつくのだと思いました。

（1年 船木 太翔）